

HRテクノロジーの進化がもたらす戦略人事の実現

“Kc-HERO” Human Established and Resource Optimizer

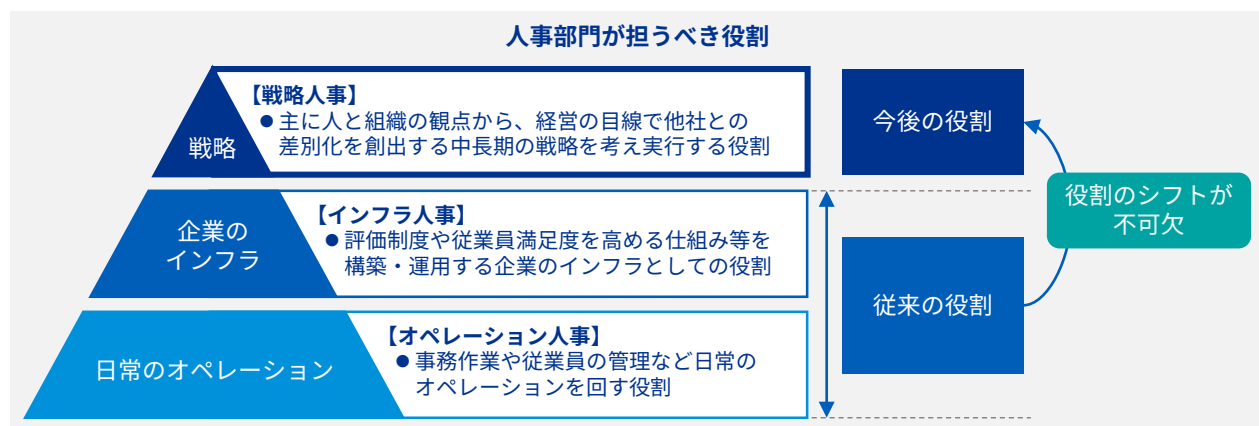
超高齢化社会による深刻な人材不足、終身雇用神話の終焉、デジタルテクノロジーの革新などを背景に、企業を取り巻く環境は史上空前と言われるほど大きく変化しており、人事部門も役割を大きくシフトすることが求められています。また、昨今注目を浴びているHRテクノロジーも従来の延長線上ではなく、人事部門の新たな役割を支えるものへと進化が必要です。

KPMGは、自然言語処理を活用した人材配置ソリューション“Kc-HERO”を、よりスケールの大きなケースで活用できるものへと進化させました。自然言語処理AIのポテンシャルを最大限に引き出し、時代の変化に追従可能なテクノロジードリブンの人事機能の改革を支援します。

人事部門が担う役割のシフト

企業・組織を取り巻く環境は、デジタルテクノロジーの進化による業界や業種の垣根の崩壊など様々な要素が相乗作用することによって、史上稀に見る激変の時代を迎えています。こうした状況は、ビジネスの変化を予測困難なものとし、また、空前の人材難と呼ばれるほどの採用競争の

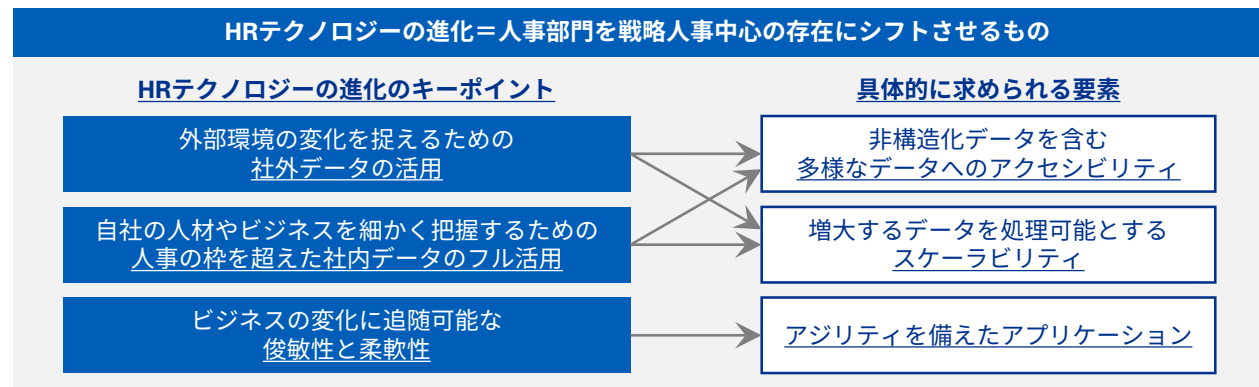
超激化をもたらします。この激動の時代に企業が競争力を維持・向上させていくためには、人事部門は経営や業務部門のビジネスパートナー、すなわち戦略人事としての役割を果たすことが求められます。



HRテクノロジーの進化

昨今では、人事部門を改革する術としてHRテクノロジーの活用が注目されています。日常のオペレーションの効率化・自動化や、人事データに基づくハイパーフォーマー分析・離職者予測など、企業のインフラとしての役割を強化することが中心であったこれまでのHRテクノロジーを、人事を戦略

人事にシフトさせていくものへと進化させることが重要です。この新たな役割を果たすためには、激変する外部環境と自社ビジネス・人材を関連付けて把握し、俊敏かつ柔軟に対応することが不可欠であり、KPMGではHRテクノロジー進化のキーポイントを以下の3つと捉えています。

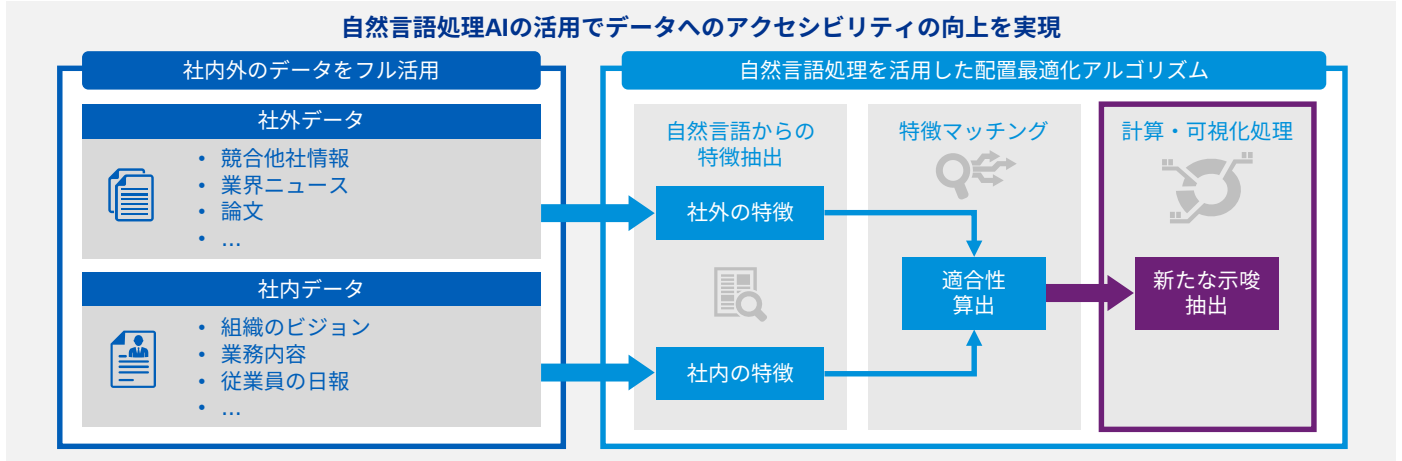


KPMGのアプローチ

■ 多様なデータへのアクセシビリティ

KPMGは、2017年に自然言語処理AIを活用した人材配置ソリューションである“Kc-HERO”の提供を開始し、非構造化データである自然文データの活用を可能にしています。このソリューションを応用することで、人事の枠を超えた社内外の自然文データを分析し、外部環境と自社を関連付けた示唆を抽出するといった

対応も可能です。こうした示唆を活用することが、競合他社との差別化や優位性を生み出す人事戦略の立案等につながり、人事部門を戦略人事中心の存在へとシフトさせていくものと考えられます。



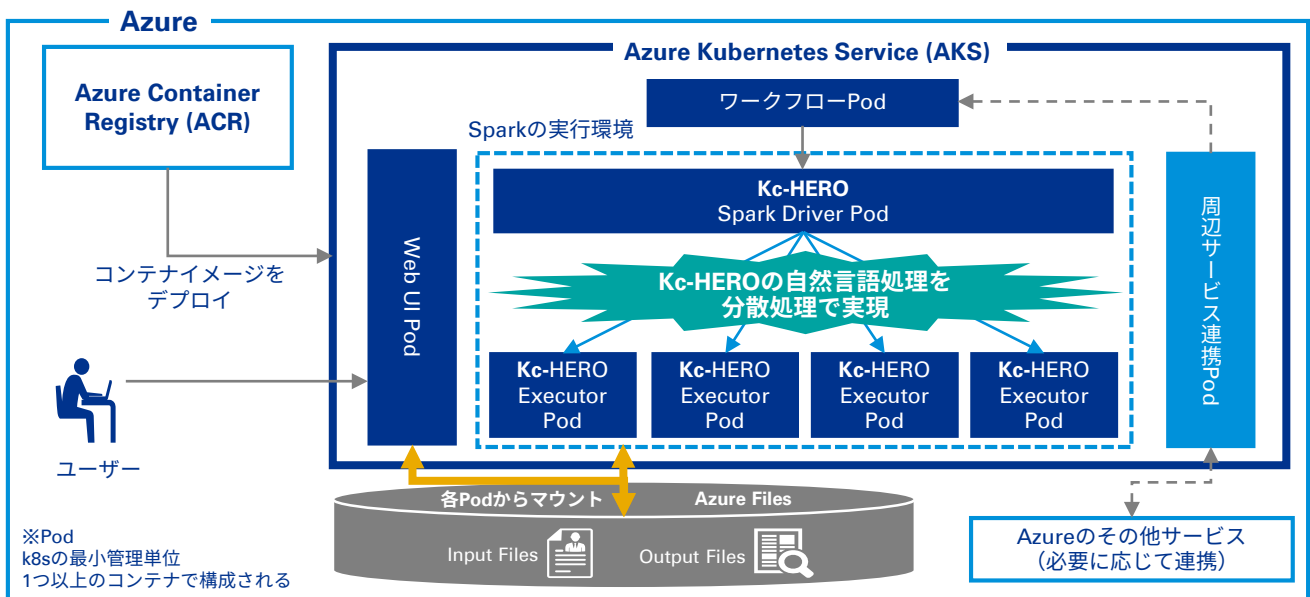
■ スケーラビリティ

Kc-HEROは、増加し続ける社内外のビッグデータの処理を可能とするべく、オープンソースの分散処理フレームワークであるApache Spark、およびコンテナ化されたアプリケーションのデプロイやスケールアップなどを管理するKubernetes (k8s) に対応しました。これにより、処理の負荷状況に応じたリソースを動的に追加することができます。伸縮自在のスケラビリティを実現することで、社内外の膨大な自然文データを高速に処理することが可能となりました。

■ アジリティを備えたアプリケーション

Kc-HEROは、マイクロサービス指向と可搬性の高さによりアジリティの高いアプリケーションであり、ビジネス要件の変更・追加に伴う分析軸や機能追加を、既存機能への影響を極小化しながら容易に行うことができます。さらに、テスト済みのコンテナをテスト環境から本番環境にそのまま移植するといったスピード感のあるリリースが可能です。このように、Kc-HEROではビジネス要件の変更発生から、それに伴う機能改修、本番環境へのリリースまでの一連の流れを柔軟かつ迅速に行うことができます。

■ Azureを活用した実現例 (Kc-HERO on Azure)



マイクロソフト社が提供するAzureのサービスを利用したケースでは、k8sの仕組みとして、Azureで提供されているAzure Kubernetes Service (AKS) と呼ばれるマネージドサービスを利用しており、AKSの管理下で分散処理に対応したKc-HEROが動作します。負荷状況に応じて、AKSの機能によって分散処理を行うPodの追加や

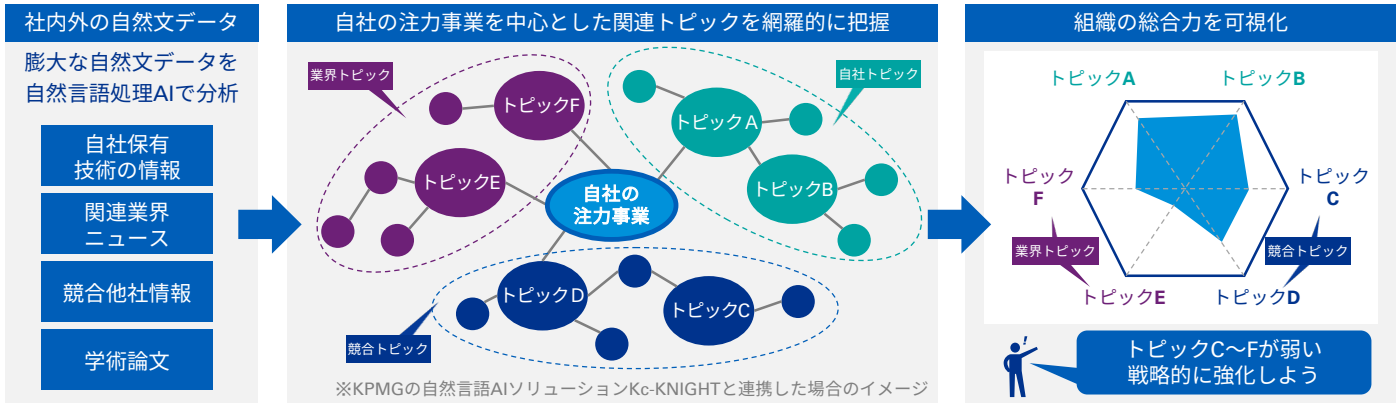
Podが実行される仮想サーバの追加が動的に行われます。また、ビジネス要件に応じて、例えばAzureの他のサービスと連携するコンテナアプリケーションを構成し、Kc-HEROの既存部分には影響のない形で連携させる等の柔軟な対応が可能です。

活用シナリオ ～ 経営に深く絡む戦略人事を実現し、スピーディに全社展開 ～

1. 外部環境と自社事業を関連付けて把握

社内外に存在する膨大な自然文データを自然言語処理AIで分析し、自社の注力事業と関連の深いトピック（単語の意味の近さに基づく）をグラフ構造で可視化することで、業界のトレンドや競合他社／自社の強みといったトピックを網羅的に把握することができます。これらのトピック情報と自社で保有する様々な自然文データを

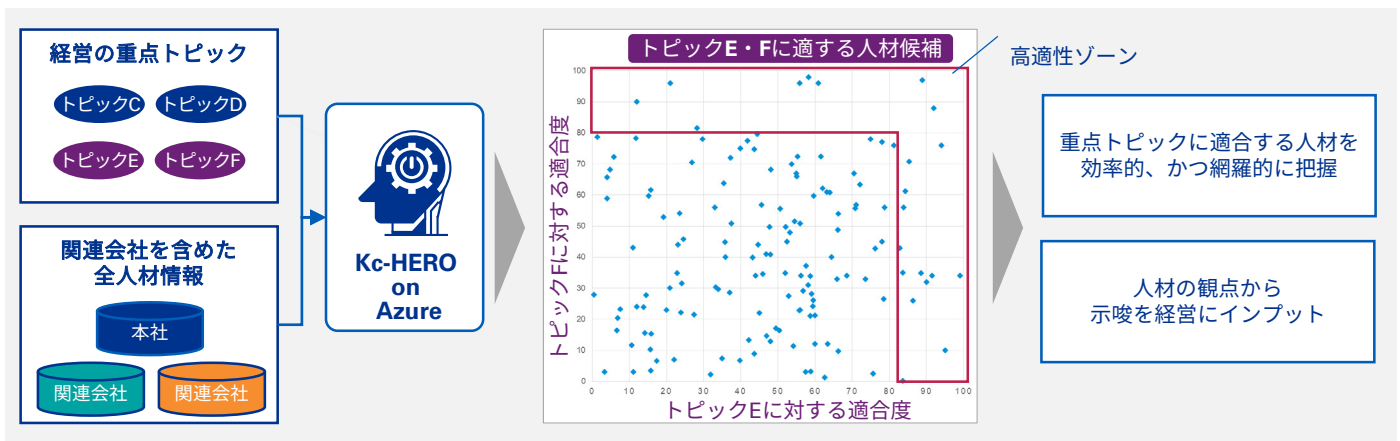
Kc-HEROで分析し、各トピックに対する適合度を算出することで、組織の総合力が可視化できます。これにより、外部動向を踏まえた自社の改善すべきポイントを把握し、その強化を目的とした戦略的な取組み（例：新会社設立による全社横断的な機能の構築や事業の役割集約など）につなげることが可能です。



2. 経営戦略に直結する人材の網羅的な把握

スケーラビリティという特徴を最大限に活用し、関連会社を含めた全人材情報（人材ビッグデータ）を分析することで、経営の重点トピックに適合する人材を効率的、かつ網羅的に把握する

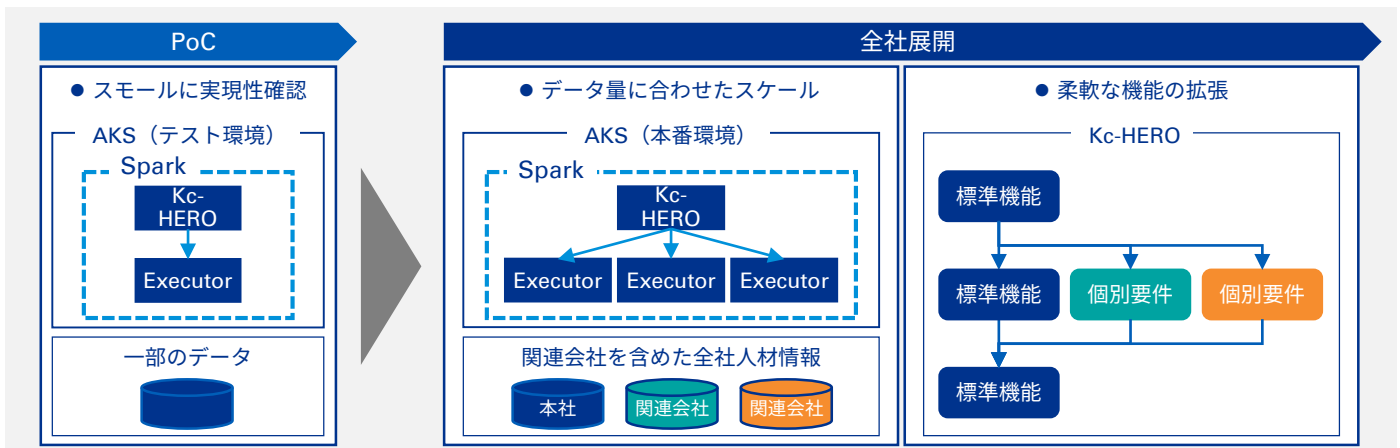
ことができます。これにより、新会社設立や事業の集約などの戦略的な取組みに対して、人材の観点から深く関与する戦略人事という役割を果たすことができます。



3. アーキテクチャの特性を活かした柔軟、かつスピーディな全社展開

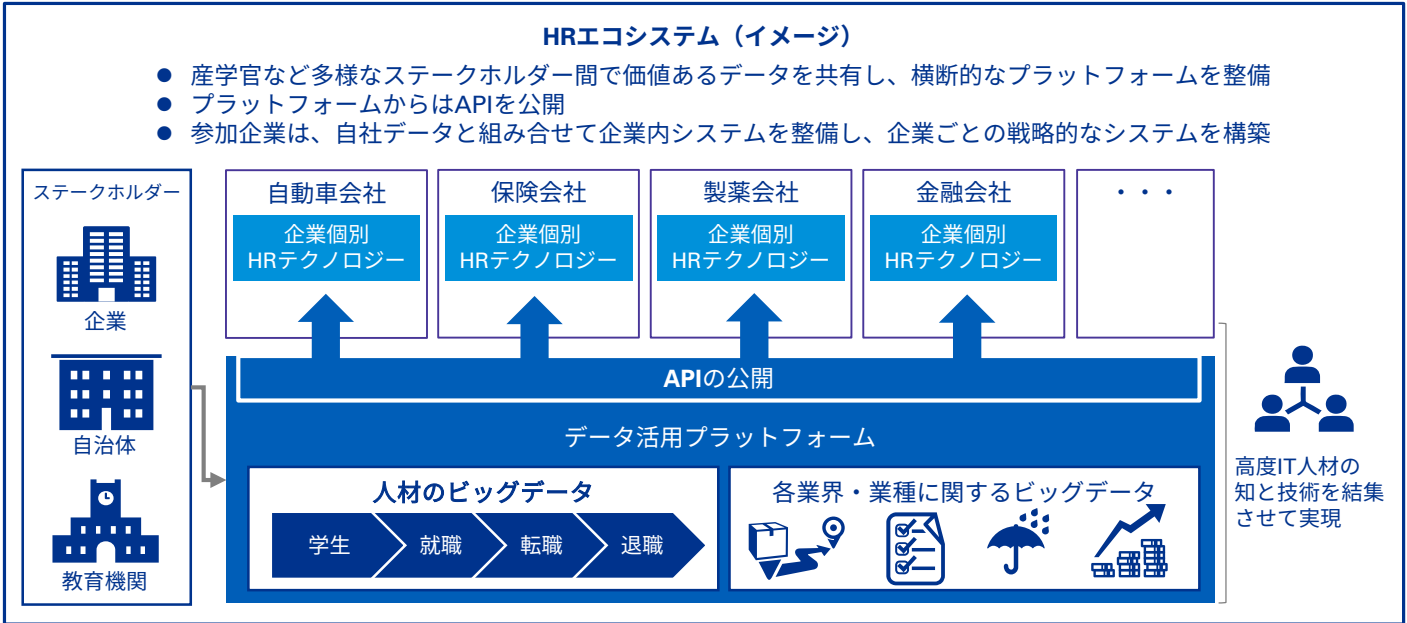
こうした全社横断的な取組みを推進する際に、Kc-HERO on Azure は大変有効です。可搬性という特徴により、PoCで実績をあげた仕組みをスピーディに本番環境へ展開することができ、全社展開に伴う処理すべきデータ量の増加にはスケーラビリティで対応

します。さらに、マイクロサービスの特徴を活かし、本番運用に耐え得る個別要件を柔軟に取り込んでいくことで、PoCから全社展開までの流れを柔軟、かつスピーディに推進していくことが可能です。



HRテクノロジーからHREコシステムへ

今回紹介した内容を本格的に実現していくためには、AIやコンテナ技術といった高度なITを扱うことが不可欠です。しかしながら、日本においてこれらの技術を扱える人材は圧倒的に不足しています。また、外部環境の変化を捉えるために外部データの活用が重要なポイントとなり、実現手段としてデータコープ（複数のステークホルダー間でデータを共同利用し、データの量や多様性を強化することで、データから得られる価値を高めようとする概念）などの方法が必要となります。これらの観点から、こうした取組みは企業個別ではなく、横断的なプラットフォームとして整備することが重要です。様々なデータや技術、人材を結集させたHREコシステムを形成し、あらゆる情報を活用可能にすることで、多くの企業に真の戦略人事と呼べる存在をもたらすことができると考えられます。



さらに、ここで述べているエッセンスは、人事の領域に限らずあらゆる業界・業種における共通項とも言えます。KPMGは、AIやそれを支えるIT基盤技術など先端ITに対する高度な知見とコンサルティングファームとしてのビジネスの専門性を融合させることで、激動の時代におけるクライアント企業の競争力維持・向上を支援します。

KPMGコンサルティング株式会社

T : 03-3548-5111

E : kc@jp.kpmg.com

home.kpmg/jp/kc

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文中では、Copyright、TM、Rマーク等は省略しています。

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則および利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティングまでお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供しよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2021 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. 20-5015

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.